

## 平成22年5月期 第3四半期決算短信

平成22年3月18日

上場会社名 株式会社 クスリのアオキ  
 コード番号 3398 URL <http://www.kusuri-aoki.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 保外志  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 垣内 伸彦  
 四半期報告書提出予定日 平成22年4月2日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 076-274-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年5月期第3四半期の連結業績(平成21年5月21日～平成22年2月20日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年5月期第3四半期	40,111	8.5	1,506	12.4	1,538	11.1	849	16.9
21年5月期第3四半期	36,969	—	1,340	—	1,385	—	726	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年5月期第3四半期	109.41	—
21年5月期第3四半期	93.59	—

(注)当第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在しておりますが希薄化効果を有しないため記載しておりません。平成21年5月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年5月期第3四半期	23,330	8,202	35.1	1,056.75
21年5月期	22,027	7,505	34.1	967.22

(参考) 自己資本 22年5月期第3四半期 8,200百万円 21年5月期 7,505百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年5月期	—	8.00	—	10.00	18.00
22年5月期	—	10.00	—	—	—
22年5月期 (予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年5月期の連結業績予想(平成21年5月21日～平成22年5月20日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,583	12.5	2,071	19.5	2,100	17.4	1,184	21.6	152.61

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- |                 |   |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更        | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- |                      |             |            |             |            |
|----------------------|-------------|------------|-------------|------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  | 22年5月期第3四半期 | 7,760,000株 | 21年5月期      | 7,760,000株 |
| ② 期末自己株式数            | 22年5月期第3四半期 | —株         | 21年5月期      | —株         |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年5月期第3四半期 | 7,760,000株 | 21年5月期第3四半期 | 7,760,000株 |

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（平成21年5月21日～平成22年2月20日）におけるわが国経済は、世界的な景気後退からは持ち直しの動きが見られるものの、企業収益や雇用情勢は依然として厳しく、物価動向もデフレ状況にあるなど、景気は引続き低迷しております。

また、個人消費におきましても、雇用・所得環境の悪化を背景とした生活防衛意識から、節約志向・低価格志向は一層顕著となり、低調な推移となりました。

当ドラッグストア業界におきましては、激しい出店競争や価格競争に加え、改正薬事法の施行に伴う医薬品販売の先行きの厳しさ等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループでは、引き続き、地域のお客様に支持される売場づくりに努めると共に、既存店の活性化に注力し、3店舗の全面改装を実施いたしました。

店舗の新設につきましては、ドラッグストアを、石川県に4店舗、富山県に3店舗、福井県に3店舗、新潟県に3店舗、長野県に3店舗の合計16店舗の出店を行い、さらなるドミナント化を推進いたしました。

また、調剤専門薬局を富山県に1薬局、ドラッグストア併設調剤薬局を石川県に2薬局、富山県に2薬局、福井県に2薬局、新潟県に2薬局、長野県に1薬局の合計10薬局を新規開設いたしました。富山県に新規開設した調剤専門薬局は、当社としては初めての病院前門前薬局となり、調剤市場への参入強化を図りました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の当社グループの店舗数は、ドラッグストア145店舗（内調剤薬局併設48店舗）、調剤専門薬局4店舗の合計149店舗となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高401億11百万円（前年同期比8.5%増）、営業利益15億6百万円（前年同期比12.4%増）、経常利益15億38百万円（前年同期比11.1%増）、四半期純利益8億49百万円（前年同期比16.9%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### （1）資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は233億30百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2百万円増加いたしました。主な増加要因は、新規出店等による建物等の有形固定資産の増加10億91百万円、商品の増加4億60百万円等によるものであります。

負債合計は151億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6百万円増加いたしました。主な増加要因は、仕入債務の増加59百万円、新規店舗の設備投資を用途とする長期借入金（1年以内返済予定含む）の増加7億35百万円、リース債務（1年以内返済予定含む）の増加1億98百万円等によるものであり、主な減少要因は、未払法人税等の減少2億96百万円、未払消費税等の減少34百万円等によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ6億96百万円増加し82億2百万円となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて1.0ポイント増加し、35.1%となっております。

#### （2）キャッシュ・フロー

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、10億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億76百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5億27百万円（前年同期は8億35百万円の収入）となりました。これは増加要因としては主に、税金等調整前四半期純利益15億38百万円、非資金費用である減価償却費の計上6億2百万円、仕入債務の増加59百万円があり、減少要因としては主に、売上債権の増加1億32百万円、たな卸資産の増加4億60百万円、法人税等の支払額8億97百万円等によるものです。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用された資金は14億12百万円（前年同期は14億29百万円の支出）となりました。これは主として、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出14億50百万円、敷金及び保証金の差入による支出1億68百万円、定期預金の預入による支出11億60百万円、定期預金の払戻による収入14億76百万円等によるものです。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は5億9百万円（前年同期は4億68百万円の収入）となりました。これは主として、新規店舗の建物建築資金等を使用する長期借入による収入15億30百万円と、長期借入金の返済による支出7億94百万円、配当金の支払1億43百万円等によるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における業績は、売上は厳しい状況が続きましたが、経常利益等は概ね計画どおりに推移しております。業績に大きな影響を及ぼす個人消費動向は今後も厳しい状況が続くものと思われませんが、現時点におきましては、平成21年6月29日に公表しました業績予想数値に変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

（たな卸資産の評価方法）

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出にしましては、実地たな卸を省略し、当第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,346,949	2,039,345
受取手形及び売掛金	709,253	576,430
商品及び製品	5,796,834	5,336,617
未収入金	722,586	625,097
その他	383,557	446,715
流動資産合計	8,959,182	9,024,207
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,596,583	8,443,663
土地	1,047,937	1,047,937
その他（純額）	828,104	889,196
有形固定資産合計	11,472,625	10,380,797
無形固定資産		
借地権	487,510	443,021
その他	83,824	29,958
無形固定資産合計	571,335	472,980
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,559,210	1,415,777
その他	768,225	733,967
投資その他の資産合計	2,327,436	2,149,744
固定資産合計	14,371,396	13,003,521
資産合計	23,330,579	22,027,728

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年2月20日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年5月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,983,931	6,924,908
短期借入金	1,233,356	1,031,551
未払法人税等	224,499	521,086
賞与引当金	305,120	428,713
役員賞与引当金	21,393	28,520
ポイント引当金	418,070	418,691
その他	1,154,756	1,048,033
流動負債合計	10,341,126	10,401,504
固定負債		
長期借入金	4,071,509	3,537,817
退職給付引当金	69,933	75,115
役員退職慰労引当金	219,010	214,060
その他	426,904	293,610
固定負債合計	4,787,357	4,120,603
負債合計	15,128,484	14,522,108
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,294,330	1,294,330
資本剰余金	1,497,114	1,497,114
利益剰余金	5,409,696	4,715,889
株主資本合計	8,201,141	7,507,334
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△797	△1,714
評価・換算差額等合計	△797	△1,714
新株予約権	1,751	—
純資産合計	8,202,094	7,505,620
負債純資産合計	23,330,579	22,027,728

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月21日 至 平成21年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)
売上高	36,969,800	40,111,687
売上原価	27,404,820	29,497,009
売上総利益	9,564,979	10,614,677
販売費及び一般管理費	8,224,286	9,108,238
営業利益	1,340,692	1,506,439
営業外収益		
受取利息	3,574	4,301
受取配当金	1,223	1,356
受取家賃	26,584	28,526
補助金収入	19,402	19,436
固定資産受贈益	16,456	12,862
その他	55,423	55,337
営業外収益合計	122,664	121,821
営業外費用		
支払利息	57,379	68,360
貸貸収入原価	14,753	15,340
その他	6,096	5,684
営業外費用合計	78,229	89,384
経常利益	1,385,127	1,538,875
特別利益		
投資有価証券売却益	—	121
特別利益合計	—	121
特別損失		
固定資産除却損	35	—
減損損失	51,816	—
貸倒損失	800	—
その他	650	—
特別損失合計	53,302	—
税金等調整前四半期純利益	1,331,825	1,538,996
法人税、住民税及び事業税	580,408	607,321
法人税等調整額	25,166	82,669
法人税等合計	605,575	689,990
四半期純利益	726,250	849,006

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年5月21日 至 平成21年2月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,331,825	1,538,996
減価償却費	487,913	602,145
減損損失	51,816	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,400	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△115,696	△123,593
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	393	△7,127
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,558	△5,181
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1,560	4,950
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	26,049	△621
受取利息及び受取配当金	△4,797	△5,657
支払利息	57,379	68,360
有形及び無形固定資産除却損	35	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△40,083	△132,822
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△239,730	△460,217
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,990	59,023
その他	80,377	△49,333
小計	1,691,075	1,488,919
利息及び配当金の受取額	4,797	5,657
利息の支払額	△59,097	△69,185
法人税等の支払額	△801,674	△897,883
営業活動によるキャッシュ・フロー	835,101	527,509
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	1,269,000	1,476,000
定期預金の預入による支出	△959,000	△1,160,000
投資有価証券の取得による支出	△4,497	△4,501
有形固定資産の取得による支出	△1,450,304	△1,450,415
無形固定資産の取得による支出	△45,594	△104,680
投資有価証券の売却による収入	—	121
敷金及び保証金の差入による支出	△135,686	△168,209
敷金及び保証金の回収による収入	19,079	24,776
その他	△122,885	△26,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,429,888	△1,412,999
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	1,380,000	1,530,000
長期借入金の返済による支出	△737,040	△794,503
割賦債務の返済による支出	△32,974	△24,774
リース債務の返済による支出	△21,085	△57,656
配当金の支払額	△120,765	△143,972
財務活動によるキャッシュ・フロー	468,134	509,094
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△126,652	△376,396
現金及び現金同等物の期首残高	1,415,192	1,439,345
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,288,540	1,062,949



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 6. その他の情報

### 仕入及び販売の状況

当社グループは医薬品・化粧品等の小売業という単一事業を営んでおりますが、商品部門を事業の種類別セグメントとみなして記載しております。

#### (1) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の仕入実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

期別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月21日 至 平成22年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
ヘルス	1,605,663	16.8	5,443,542	18.1
ビューティ	2,245,179	23.4	7,113,271	23.6
ライフ	5,084,299	53.1	15,449,031	51.4
調剤	637,270	6.7	2,080,684	6.9
合計	9,572,412	100.0	30,086,530	100.0

(注) 1. 上記の金額は、物流益等(店舗への直送受託収入から直送委託費用を控除した物流益及び発注にかかるデータ収入)を控除しておりません。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. ヘルス、ビューティ、ライフ、調剤の主な取扱品目は以下のとおりであります。

ヘルス …医薬品、ビタミンサプリメント等の健康食品、救急用品等の医療用品

ビューティ…カウンセリング化粧品、洗顔料等のフェイスクア商品、ボディソープ等のボディケア商品、シャンプー等のヘアケア商品、歯磨等のオーラルケア商品

ライフ …オムツなどのベビー関連商品、介護用品、生理用品、洗剤、家庭用品、ペットフード、靴下や肌着等の衣料用品、家電用品、菓子・飲料

調剤 …薬局にて処方する医療用医薬品

#### (2) 販売実績

##### ①商品部門別販売実績

当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間の販売実績を商品部門別に示すと、次のとおりであります。

期別	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月21日 至 平成22年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
ヘルス	2,797,040	21.1	8,596,391	21.4
ビューティ	3,208,250	24.1	9,729,648	24.3
ライフ	6,194,763	46.6	18,683,452	46.6
調剤	1,096,804	8.2	3,102,194	7.7
合計	13,296,859	100.0	40,111,687	100.0

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

②地域別販売実績

当第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の販売実績を地域別に示すと、次のとおりであります。

期別		当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年11月21日 至 平成22年2月20日)		当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年5月21日 至 平成22年2月20日)	
区分	店舗数 (店)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
石川県	60	5,755,713	43.3	17,591,889	43.8
富山県	35	2,998,823	22.6	9,025,462	22.5
福井県	33	2,825,508	21.2	8,571,677	21.4
新潟県	16	1,413,517	10.6	4,216,648	10.5
長野県	5	303,297	2.3	706,007	1.8
合計	149	13,296,859	100.0	40,111,687	100.0

- (注) 1. 店舗数は当第3四半期連結会計期間末現在のものです。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。